

市制60周年

鹿沼市の歩み ④終

～ 市制50周年・合併・これから ～

懐かしい写真や当時の話題を紹介しながら、市民のみなさんと歩み続けた60年を振り返ります。



合併を記念して平成18年1月1目をカウントダウンで祝う

世界へ飛躍する鹿沼市へ

市制50周年を記念してつくられた屋台のまち中央公園には、木のまち鹿沼の象徴である彫刻屋台を収蔵する展示館ができました。木版画の川上澄生美術館と共に、観光の発信基地として多くのファンが訪れています。また、市制50周年を記念する事業として、市民の憩いの場となっている千手山公園のリニューアル、総合体育館や出会の森の建設、市史編さん事業などが実施され、新世紀に向けて大きな一歩を踏み出しました。

そして、市民が鹿沼の魅力に気づき、さらに大きく育む活動を展開していくために、誇れるまちづくりの構想が進み始めます。そんな中、平成18年1月1日に栗野町と合併し、人口10万人を超える新しい鹿沼市が誕生しました。

今年60周年を迎えた鹿沼市は、全国へ、そして世界へと交流の場や活動の場を広げていきます。



屋台展示館(平成10年)



出会の森オートキャンプ場(平成12年)



郷土の歴史を伝える鹿沼市史



パリさつき展



グランドフォークス市長来鹿

川上澄生の世界

作品紹介 123

平成18年1月1日、鹿沼市と栗野町が合併し、新・鹿沼市が誕生しました。川上澄生美術館では、栗野地区のみなさんに、美術館や川上澄生の作品を身近に感じてもらうと、19年11月に、栗野歴史民俗資料館で「へっぼこ先生が来た!」川上澄生美術館 館外展」を開催し、澄生の代表作41点を紹介し、好評を博しました。中でも、澄生40歳のときの自画像《へっぼこ先生》は、川上澄生美術館のト

リードマークであり、この企画展を象徴するにふさわしい、親近感あふれる作品です。資料館の外壁やパンフレットに《へっぼこ先生》が大きくあしらわれ、人目を引きました。その効果もあり、13日間で530人という多くの来場者がありました。

今後も、川上澄生美術館は市民にとって身近な美術館を目指し、市民とともに歩んでいきます。

学芸員 白井佐知子



「へっぼこ先生」
1935年(昭和10年)
木版墨刷 紙
(画面寸法 縦19.6cm×横13.6cm)

川上澄生美術館からのお知らせ

問い合わせ ☎(02)882772

〔2階展示ホール〕

市制60周年記念「佐伯留守夫と川上澄生」展を1月12日(月・祝)まで開催しています。1月18日(日)から、「澄生の愛したものの 煙管・時計・玩具」展を開催します。

〔1階展示ホール〕

1月18日(日)～2月1日(日)まで、「版画の年賀状」展を開催します。

※12月28日(日)～1月5日(月)は年末年始、1月14日(水)～17日(土)は展示替えのため休館します。